東京臨海広域防災公園イベントのご案内



7/10₁

自然災害から

保育士・子育て支援者向け

主催:東京臨海広域防災公園

こどもを守る防災セミナー

参加費無料

防災計画は作ったものの、本当にこどもたちを助けられるの? 保育道具の固定はこれであっている?他の園はどうしてる? 職員のいる場所がどう見ても危険なのだけど、どうしたらいい? 避難袋を作ったものの、本当に持ち出せるの? 素早く避難する方法は?数々の保育園や幼稚園で研修を行ってきた講師陣による実践的な防災研修です!



時間:13:30~17:00

場 所:そなエリア東京

2F レクチャールーム

定 員:50名(事前申込み)



講師: あんどうりす氏(アウトドア流防災ガイド)

阪神大震災被災体験とアウトドアの知識を生かした防災ガイドとして、2003年より全国で講演活動を展開。実践的な内容が好評で毎年の公演回数は100回以上。幼稚園じほう2013年防災コラム連載。著作:自然災害最新サバイバルBOOK 世出版社など



だっことおんぶの研究所

だっこ、おんぶすることが子どもの心と親子の絆を育むことにつながるということを啓発する NPO 法人。 2010 年より静岡県を中心に各地で防災セミナーを実施。 正しいだっこの仕方など、避難時に役立つ情報をお伝えします。



星野 諭氏(NPO法人コドモ・ワカモノまちing代表理事)

多世代交流イベントや遊び場づくり、キャンプや研修など全国で活動している団体。防災では、東京都や NHK と共に様々な防災あそびやワークショップを展開している。3.11 震災復興支援活動として石巻や福島でも活動中





【お申し込み】お電話・FAXまたはメールで『こどもを守る防災セミナー参加希望』をタイトルにして、 以下の事項をご記入のうえ、裏面の管理センター宛にお申し込みください。



そなエリア東京

防災体験学習施設









、ここで大地震がおきた!

国や自治体などの支援体制が十分に整うまでは、自力で生き残らなければ なりません。その目安は3日間、72時間といわれています。

72時間、どう生き残るか?

「東京直下72hTOUR」は、マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下 地震の発災から避難までを体験し、タブレット端末を使ったクイズに答え ながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーです

「東京直下72h TOUR」に参加してスタンプを押そう!

東京臨海広域防災公園 The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park







北口 North exit Vurikamome-Line Ariake S なエリア東京 ヘリポート 多目的広境 エントランス広場 有明口 € 癌研有明病院 東口 West 不过 草地広場 南東口 南口

東京臨海広域防災公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生し たとき、国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、 公園全体が広域的な指令機能を受け持つ場所となります。

※大規模災害が起きたときには上記のような機能となるため、避難場所としてはご利用になれません。

平常時には、花と緑があふれる国営公園 (6.7ha) と都立公園 (6.5ha) が融合した広大なスペースで、軽い運動やピクニックを楽しむなど、 休憩・休息の場として広くお客様に使って頂ける公園です。公園 外周には緑陰となる樹木や花木が植えられており、海風に当たり ながら、季節感を感じることのできる、心地よい空間です。広大 な芝生広場や舗装された広場では、防災訓練や様々なイベントが 実施され、防災を身近に感じながら楽しく学ぶことができます。







フェイスブックも随時更新中! www.facebook.com/sonaarea

【東京臨海広域防災公園】

- 開園時間 午前6時~午後8時(12/31~1/1休園)
- 入園料 無料

【そなエリア東京】 ~防災体験学習施設~

- 午前9時30分~午後5時
 - (入場は午後4時30分まで)
 - 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)
 - ※年末年始及び臨時休館日があります
 - 無料

【ご利用に関するお問合せ】

東京臨海広域防災公園 管理センター 〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号 TEL: 03-3529-2180 FAX: 03-3529-2188 (運営管理:西武造園・NHKアート共同体)

最寄駅

りんかい線 → 「国際展示場駅」より徒歩約4分 ゆりかもめ → 「有明駅」より徒歩約2分 ※当施設に駐車場はございません



テレコムセンター